

スクリーニング検査の計算問題

96 疾病の有無とスクリーニング検査結果とを表に示す。

		スクリーニング検査	
		陽性	陰性
疾病	あり	A 人	B 人
	なし	C 人	D 人

$\frac{A}{A+B}$ はどれか。1つ選べ。

- a 敏感度(感度)
- b 特異度
- c 陽性反応的中度
- d 陰性反応的中度
- e 偽陽性率

90 1,000 人のある集団における歯周炎の有病率は 20%であった。この集団について敏感度が 0.9、特異度が 0.9 のスクリーニング検査を行った。検査結果の一部を表に示す。

この検査で陽性の者が真に歯周炎である確率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

		歯周炎の有無		合計
		あり	なし	
スクリーニング 検査結果	陽性(+)			
	陰性(-)			
合計				1,000

解答：① ② %

72 死亡率の高い疾患のスクリーニング検査法の評価において、最も重視するのはどれか。1つ選べ。

- a 敏感度〈感度〉
- b 特異度
- c 偽陽性率
- d 陽性反応適中度
- e 陰性反応適中度

44 ある疾患の有無についての検査結果と最終診断の関係を表に示す。

		最終診断	
		疾患あり	疾患なし
検査結果	陽 性	80 名	20 名
	陰 性	10 名	100 名

この検査の敏感度と特異度との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

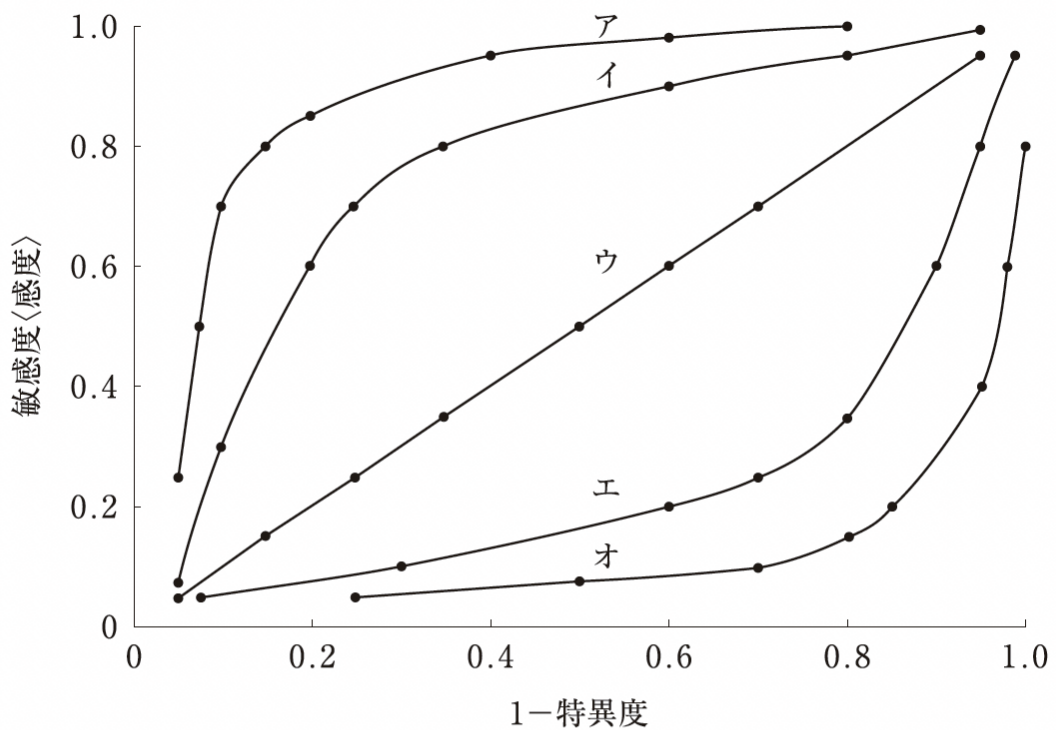
- | | 敏感度 | 特異度 |
|---|------|------|
| a | 0.80 | 0.83 |
| b | 0.83 | 0.80 |
| c | 0.83 | 0.89 |
| d | 0.89 | 0.80 |
| e | 0.89 | 0.83 |

90 ある成人集団に対して歯周病のスクリーニング検査を実施した結果、感度は0.90で特異度は0.80であった。

この検査の尤度比(陽性尤度比)を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第2位を四捨五入すること。

27 5つの検査法のROC曲線を図に示す。



スクリーニング検査に最も有用なのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ